

第7章 未来(あす)を見つめたまちづくり 第1節 人権の尊重

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)					
			会計	投入コスト	活動実績(R1)	成果指標	総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)						
企画総務課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	人権課題が多様化しているなかで、継続的に啓発を行ってきた成果として、目標値を達成することができたため。	R1年度に改善した点	5. ジェンダー平等を実現しよう	10. 人や国の不平等をなくそう	16. 平和と公平をすべての人に				
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	1,120千円	808千円	①講演会等参加者数	人権尊重に関する施策への満足度 市民意識調査の設問「所沢市の施策への満足度」に対し、「満足」「まあまあ満足」と回答した人の割合)	人権推進室では、人権全般の啓発を総合的に推進しており、施策への満足度を指標としている。							入間郡市同和対策協議会として、地域の人権問題に関する実情を把握するため、令和元年度よりインターネット上への差別書き込みに対するモニタリング事業を開始。発見した差別書き込みについては法務局に削除要請を行った。			
	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)	②啓発ビデオ貸出件数	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析							事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			
	今後の同和行政の基本方針	1,400千円	1,174千円	③啓発ビデオ視聴件数	R元年度目標	R1実績	目標達成済							どのよう貢献したか			
	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	R2年度目標	R1実績	多様化する人権課題に対し、研修会や講演会を等により、継続的な人権啓発を実施し、1日も早い解決に努めていく。							様々な人権課題についての学習機会を提供することを通じて、人権尊重に関する意識の向上を図った。			
	人権意識の向上を図ることにより、市民一人ひとりの人権を擁護し、差別のない地域社会を築くことを目的とし、人権に関する企業及び職員向けの研修会の実施、「人権フェスティバル」の開催(入間郡市同和対策協議会)、人権啓発講演会の実施(人権啓発活動地方委託事業)、人権啓発DVDの貸し出し、人権啓発物品の作成・配布等、さまざまな啓発事業を行っている。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①975人	42.0%	46.8%											
	期間	0.60人	非常勤特別職 0.00人	②5件	42.0%	46.8%											
H12年度～	4,987千円	臨時職員 0.00人	③1,310人	44.0%													
企画総務課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	S	成果指標の目標値を毎年達成しており、一定の成果が挙げられていると考えている。引き続き目標が達成できるよう、努めていきたい。	R1年度に改善した点	16. 平和と公平をすべての人に						
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	2,200千円	1,944千円	①平和祈念式典参加事業	市の平和推進事業に理解いただいた人数の割合	戦争の悲惨さと平和の尊さ、命の大切さを市民一人ひとりに理解してもらったことが、当該事業の目的となっているため、当該事業に参加して意義を理解いただいた人数の割合を成果指標とする。						「原爆の子の像」周辺に設けられている折り鶴ブースに捧げるため、平和資料展の一角に折り鶴作成コーナーを設置し、来場者来場者から折り鶴を募り、千羽鶴を作成した。				
	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)	②平和を語る会	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析						事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み				
	-	446千円	436千円	③平和祈念資料展	R元年度目標	R1実績	目標達成済						どのよう貢献したか				
	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	R2年度目標	R1実績	被爆・戦争体験者の高齢化が進む中、語り部への身体的負担に配慮した事業展開が必要となる。						平和の尊さと戦争の悲惨さを伝えていく活動を通じて、平和に対する市民の意識の高揚を図った。				
	戦争の悲惨さと平和の尊さ、命の大切さを市民一人ひとりに理解してもらうため、一般公募の市民と平和祈念式典に参加する「平和祈念式典参加事業」や、市内小中学校及び一般市民を対象とした被爆体験者による「平和を語る会」の実施、市役所市民ホール及び各地区のまちづくりセンターにおいて原爆のパネル写真を展示する、「平和祈念資料展」の開催を行う。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①5名参加	100.0%	100.0%											
	期間	0.28人	非常勤特別職 0.00人	②15回開催し、958名参加	100.0%	100.0%											
S60年度～	2,327千円	臨時職員 0.00人	③来場者数約3,500人	100.0%													
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	成果指標の目標値は達成できており、一定の成果を上げているが、参加者数が、昨年度より少なかったため、周知方法や内容等の検討が必要と考える。差別のない人権尊重社会を構築するため、日頃から人権教育を推進する必要がある。等事業の重要性は高い。	R1年度に改善した点	5. ジェンダー平等を実現しよう	1. 貧困をなくそう	10. 人や国の不平等をなくそう	3. すべての人に健康と福祉を	16. 平和と公平をすべての人に	4. 質の高い教育をみんなに	
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	1,129千円	1,099千円	①家庭教育学級人権教育合同講座受講者数	講座・研修会参加者の理解度(%)	人権意識の向上に資するため、参加者アンケートから理解度を指標とした。										人権教育指導者養成講座では、様々な人権課題を取り上げている。本年度は、LG、BT、高齢者、ハンセン病患者の人権をテーマに開催した。
	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)	②人権教育ブロック別研修会受講者数	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析										事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律、社会教育法、所沢市人権教育推進協議会交付金交付要綱	1,125千円	1,065千円	③人権教育指導者養成講座受講者数	R元年度目標	R1実績	目標達成済										どのよう貢献したか
	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	R2年度目標	R1実績	「部落差別の解消の推進に関する法律」の制定を踏まえ、所沢市人権教育推進協議会と共催で開催する講座において、法律の周知、同和問題について継続して取り上げる必要がある。										思いやりのある人権尊重社会の実現のため、様々な人権課題を取り上げ人権教育の推進を行った。
	広く市民や社会教育関係団体、学校関係者に対して講座の開催や人権啓発物の配布を通じて人権教育の推進を図り、差別や偏見のない明るい地域社会づくりに寄与することを目的としている。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①453人	90.0%	91.0%											
	期間	0.62人	非常勤特別職 0.25人	②161人	92.0%	92.0%											
平成15年度～	5,196千円	臨時職員 0.00人	③82人	93.0%													

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト			活動実績(R1)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり成果指標の目標値は下回っているが、市民団体との協働により30年以上実施している本事業は、日本語学習を通して市内在住外国人の生活支援をする場であるとともに、市内在住外国人との相互理解や交流を深める場としても重要な役割を果たしている。また、講習会を開催する団体も当市の国際交流に大きく貢献しており、国際理解に対して成果を上げている。</p>	R1年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに 10. 人や国の不平等をなくそう	<p>市内在住外国人が生活する上で必要不可欠な日本語の学習の場を保障し、国際化に対応し、市民の国際交流・異文化理解を推進する事を目的とし、毎月曜日日本語講習会を市民のボランティアにより実施。また、日本語講習会のボランティア(指導者)の確保と技術の向上を目的に、ボランティアを志す方へ向けた入門編と、ボランティアとして活動する方向けの実践編の研修を開催。</p>		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	269千円	269千円	①開催回数	講習会受講生の人数(人)	多くの市内在住外国人に参加してもらいたいため、受講生の延べ人数を指標とする。				R1目標値が未達成の理由・分析			<p>日本語学習支援ボランティア養成講座を受講した方が日本語ボランティア団体に参加し活動することにつながるために、ボランティア団体を見学する機会を設けた。</p>	
	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)	②講習会受講生数	H30年度目標		H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析							
	社会教育法	248千円	170千円	③日本語学習支援ボランティア養成講座受講生数	900	811	R1目標値が未達成の理由・分析								
	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	R元年度目標	R1実績		R1目標値が未達成の理由・分析							
	外国人のための日本語講習会開設事業	0.43人	非常勤特別職	0.00人	①29回	900	609				R1目標値が未達成の理由・分析				
		3,603千円	臨時職員	0.00人	②609人	R2年度目標	R1実績								
		R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	③257人	400	R1実績		<p>市内在住外国人は増加傾向にあるが、社会情勢にも影響され流動的なため、日本語学習を必要としている人の定着率が少なく、年度により受講生数が増減がある。また、新型コロナウイルス感染拡大防止するため、2月下旬以降講習会を中止したことにより、人数が減少した。</p>							
		0.26人	非常勤特別職	0.00人	①1回		900				609			R1実績	
		2,161千円	臨時職員	0.00人	②0回	R2年度目標	R1実績								
期間		平成元年度～													
企画総務課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	<p>公共施設の整備や改修の際には、ユニバーサルデザインへの配慮がなされるなど、一定程度の周知が図られている。目標に対する実績の割合は9割を超えているが、目標達成に向けてより一層の啓発について検討が必要である。</p>	R1年度に改善した点	10. 人や国の不平等をなくそう 11. 住み続けられるまちづくりを 16. 平和と公平をすべての人に	<p>誰もが参加しやすく、暮らしやすいまちづくりを進めるため、ユニバーサルデザイン推進基本方針を周知するための情報提供、新規採用職員への研修等、ユニバーサルデザインを推進するための事業を行っている。</p>		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	0千円	0千円	①情報提供回数	職員のユニバーサルデザインへの配慮度 ※職員アンケートで「配慮して業務に取り組んでいる」と答えた人の割合。 (平成30年度までは市民意識調査における居住環境の満足度についての設問で、満足及びまあまあ満足と回答した人の割合を指標としていた。)	第5次総合計画においては、市民の「ユニバーサルデザインの認知度」を対象としていたが、行政サービスを提供する市職員がユニバーサルデザインに配慮し、業務に取り組んでいるかを重要視し、第6次総合計画より成果指標を変更した。				R1目標値が未達成の理由・分析			<p>担当職員をユニバーサルデザインに関する研修会に派遣し、情報収集を行った。</p>	
	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)	②具体的に取り組んだ事業数(研修の開催等)	H30年度目標		H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析							
	ユニバーサルデザイン推進基本方針	0千円	0千円	実績	80.0%	67.1%	R1目標値が未達成の理由・分析								
	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	①1回(職員アンケート実施の際に実施)	R元年度目標	R1実績		R1目標値が未達成の理由・分析							
	ユニバーサルデザイン推進事業	0.04人	非常勤特別職	0.00人	②0回	55.0%	50.4%				R1目標値が未達成の理由・分析				
		335千円	臨時職員	0.00人	③0回	R2年度目標	R1実績								
		R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①1回	55.0%	50.4%		R1実績							
		0.09人	非常勤特別職	0.00人	②0回	60.0%	R1実績								
		748千円	臨時職員	0.00人	③0回	60.0%		R1実績							
期間		H19年度～													
企画総務課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	<p>女性委員の登用については庁内へ協力依頼を行い、周知・啓発を図った。</p>	R1年度に改善した点	5. ジェンダー平等を実現しよう 17. パートナーシップで目標を達成しよう	<p>誰もが自分らしくのびやかに生きられる男女共同参画の実現に向けて、男女共同参画への関心を高め、性別による固定的役割分担意識の改善を図ることを目的とする。 主な内容として、男女共同参画情報誌「SUN」(年2回発行 各5,000部 関係機関並びに公共施設・学校等に配布)を発行する。</p>		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	337千円	300千円	①情報誌「SUN」発行部数	【～H30】性別による固定的役割分担意識がない人の割合(市民意識調査による) 【R1～】審議会等の委員に占める女性の割合	政策・方針等の意思決定の場に男女がともに参画しているかを測る指標として、市が設置している審議会等の委員に占める女性の割合とする。				R1目標値が未達成の理由・分析			<p>女性委員の登用について庁内へ協力依頼を行い、周知・啓発を図った。</p>	
	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)	②	H30年度目標		H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析							
	男女共同参画社会基本法 所沢市男女共同参画推進条例	316千円	287千円	③	48.0%	60.0%	R1目標値が未達成の理由・分析								
	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	R元年度目標	R1実績		R1目標値が未達成の理由・分析							
	男女共同参画啓発・普及事業	0.50人	非常勤特別職	0.00人	①10,000部	40.0%	31.5%				R1目標値が未達成の理由・分析				
		4,190千円	臨時職員	0.00人	②	R2年度目標	R1実績								
		R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	③	40.0%	R1実績		<p>審議会によっては、専門的な知識を有することを条件としていたり、推薦を依頼する関係団体に女性がいなかったり、女性委員の推薦が得られなかったため。</p>							
		0.55人	非常勤特別職	0.00人	④		40.0%				R1実績				
		4,572千円	臨時職員	0.00人	⑤	40.0%	R1実績								
期間		S56年度～													

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)			
			会計	投入コスト		活動実績(R1)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)			
男女共同参画推進センターふらっと	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月分の部屋使用が大幅に減った。今後は、ふらっと使用ガイドラインに沿って、講座や情報誌などあらゆる機会を利用して活用を促すよう努めている。	R1年度に改善した点	5. ジェンダー平等を実現しよう					
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	11,148千円	10,176千円	①部屋使用者数	部屋の稼働率(会議室・研修室・生活工房の月別稼働率の平均)	男女共同参画に係る「学習」や「交流」の場を提供することがこの事業の目的のひとつであるため、貸し出し部屋の稼働率を指標とする。						生活工房のガス排気筒の修繕を行った。				
	根拠法令	所沢市男女共同参画推進条例	R1予算現額	R1決算額(見込み)	②複写機・印刷機使用者数								R1目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			
	事業の目的及び具体的な内容	男女共同参画に係る「学習」「相談」「交流」「情報」の場を提供するとともに、できるだけ多くの方に男女共同参画への理解と意識の向上を図ることを目的とし、施設(会議室・研修室・生活工房)、印刷機、男女共同参画に関する図書・ビデオ・DVDの貸出を行う。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	③図書・ビデオ利用者数	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析									
	期間	S7年度～	0.43人	非常勤特別職	実績	45.0%	39.0%										
			3,603千円	臨時職員	0.90人	R元年度目標	R1実績						新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月分の部屋使用が大幅に減った。また、生活工房の稼働率が低いため、今後は窓口での案内等で利用者に積極的な活動を促す。				
			R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①23,152	45.0%	37.0%										
			0.68人	非常勤特別職	②175	R2年度目標											
			5,652千円	臨時職員	1.10人	45.0%											
														企画総務課長 山屋 貴裕			
男女共同参画推進センターふらっと	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	引き続き相談事業の周知を積極的に行っていく。	R1年度に改善した点	5. ジェンダー平等を実現しよう					
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	4,343千円	4,186千円	①電話相談件数	年間相談件数	相談件数の増加が相談事業の充実にそのまま結びつくわけではないが、相談事業の周知や、男女共同参画社会への理解を深めるための啓発の成果と捉えて指標とする。						電話相談の実施日を増設した。(第2・第4火曜日を増設)				
	根拠法令	所沢市男女共同参画推進条例 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律	R1予算現額	R1決算額(見込み)	②カウンセリング相談件数								R1目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			
	事業の目的及び具体的な内容	女性の生き方に関する相談事業	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	③何でもききます相談件数	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析									
	期間	S7年度～	0.25人	非常勤特別職	実績	750件	952件										
			2,095千円	臨時職員	0.60人	R元年度目標	R1実績						目標達成済				
			R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①720件	750件	956件										
			0.32人	非常勤特別職	②142件	R2年度目標											
			2,660千円	臨時職員	0.90人	750件											
														企画総務課長 山屋 貴裕			
男女共同参画推進センターふらっと	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	定員を超える申し込みのある講座がある一方で、集客できていない講座もあることから、市民に関心を持ってもらえる講座を企画したり講座開催日や開催時間など考えていく必要がある。	R1年度に改善した点	5. ジェンダー平等を実現しよう					
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	1,074千円	1,047千円	①講座参加者数	講座定員数における参加者数の割合	男女共同参画に対する理解や意識の向上を図ることが当該事業の目的のため、講座の参加者人数を指標とする。						QRコードをチラシに記載し、いつでも簡単に申し込みができるようにした。				
	根拠法令	所沢市男女共同参画推進条例	R1予算現額	R1決算額(見込み)	②								R1目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			
	事業の目的及び具体的な内容	ふらっと企画講座実施事業	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	③	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析									
	期間	S7年度～	0.50人	非常勤特別職	実績	90.0%	84.0%										
			4,190千円	臨時職員	0.50人	R元年度目標	R1実績						昨年と比べ、全体の稼働率が下がり、目標達成に到らなかった。今後も、男女共同参画の啓発を行いつつ、市民が関心を持って参加できるような講座を実施する必要がある。				
			R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①1,891人	90.0%	80.0%										
			0.57人	非常勤特別職	②	R2年度目標											
			4,738千円	臨時職員	1.00人	90.0%											
														企画総務課長 山屋 貴裕			

